

〈発行責任者〉 福島和敏

〈広報委員会〉 坂見健次・中村 好・住吉博子・機 洋子・田中 茂



平成26年10月15日 荒尾万田坑へ研修旅行

“心はいつまでも青春！”

“一期一会”の出会いから早2年。勉強ざらだった私が、毎週の火曜日が待ち遠しく思った さわ大の1年間。

30歳で脱サラして今のタイヤ屋を創業し走り続けた44年。その間の政治活動に情熱を注いだ12年。さわ大の1年は激動の74年の人生行路の中で“ほっ！”と一息いれた時間でもありました。

新たな社会常識も学び、また新たな友達もできました。その友情がこれからもず〜と続く。それがいちごの会の目

指すものでありたいと思います。

それにしても、想定外の4月14日の一発目の大地震。神は何に怒ったのか！

あの自然界の恐怖から2か月、今だ余震の終息の予測もつかない現況で

不安も募りますが、勇気をもって元気に楽しい人生を送りましょう。



タイヤ屋のおや

じ

【あれから・これから編集記】

先の熊本大震災、皆さんには被害の程はいかがだったでしょうか？

出会いそして卒業、早いもので1年3ヵ月が経過しました。その同期会を「いちごの会」と名付け、卒業後もその絆を

大切に、生きがいを探求する活動を継続するために「研修・広報」「スポレク」「旅行」の委員会を設けて、選出され12名の理事が役割を担うことになりました。私は、その中で最も苦手な「研修・広報」委員となり、しかも委員長にされてしまいました。その創刊号を発行するにあたり、慣れない委員が結束して試行錯誤しながら何とかたどり着いたのがこの広報誌です。出来栄えは別として、皆の努力の結集です。また今後も乞ご期待！

今後もまだまだ余震は続きそうです。共に励まし合いながら頑張りましょう。

【いちごの会】 この一年

集い・遊び・高めあう なかま

5月 さわ大グラウンドゴルフ大会 先輩 OB・OGのパワーに圧倒される！

さわ大八代校は開校15年。14期までの800名に我々15期39名を加えて839名の卒業生で編成されるOB連絡協議会。昨年の5月26日に13期生のお世話で約300名の卒業生が球磨川河川敷に集結して大グラウンドゴルフ大会が開催され、15期も23名が参加。体力・わざ・道具・ファッション etc.大先輩方の日ごろの精進努力を目の当たりにする。初挑戦者もホールインワンでガッツポーズ。終了後の班別の“茶話会”も楽しかった。2年後は私たちの15期生が当番です。

5月 スリーテーマーチ 12名が参加



10月 小旅行&グラウンドゴルフ



発車オーライ！ 素晴らしい秋晴れのもと、28名が参加。宮崎県境の湯前湯楽里までの楽しいバスの旅。グラウンドゴルフでは初挑戦者もあり珍プレー・好プレーも続出。簡単なようでボールは思った通りに行ってくれない。2ゲーム目は要領がつかめて成績アップ。経験を積みばうまくなるかも！ その後は温泉でゆら〜りと汗を流し楽しい食事会。石橋勲さんから手作りの桜ボールペン(桜の小枝に芯入り)を全員にプレゼント。感謝！ そこで間合いを入れずに最高齢の小原タツヨさんから一句「秋さやか 心づくしの ペン一本」拍手！！！！ スコアアは別にして、温泉も食事も満喫。そして満面の笑みでパチリ！ 楽しい研修旅行だった。

12月忘年会 またあなたと会えて嬉しい！



元気をやったり
もらったり！



1班

あれから 1年

60歳を過ぎた年齢で40名の同期の方達と仲間になれ、数多くの講義や行事を学習する機会があるとは夢にも思いませんでした。あっと言う間の一年、様々な思い出ができました。世界遺産になった万田抗への卒業旅、ガイドで元炭鉱夫の説明で危険な仕事だった事が、手に取る様にわかりました。卒業式のパーティでは、各班の出し物、中にはプロ顔負けの演技もあり、歌・踊り・呑む・食べる・笑うで大いに上がった。二次会もそれにも負けない盛り上がりで心に残る卒業式でした。卒業後一週は、7月(海の日)に世界遺産に登録された長崎の「軍艦島」ツアーに、全員が参加した。現存している建物の説明を聞き、遺産である建物を食い入る様に見学、島の歴史や炭鉱だった頃の島の生活を見聞きし非常に感動しました。これからもいろんな計画を立てて、交友を深めて行きたいと思っています。

嶋田 啓子

2班



私たちは、自分自身の心身の健康のために、子供たちと喜びを分かちあうために絵本の読み聞かせ、活動を継続しています。グループ名は「紙ふうせん」。各人が役割を担当しながらいろいろな活動を行っています。毎月定例会を実施、読み聞かせの計画や絵本の紹介、レクレーションなど話題に事欠きません。阿蘇への蕨狩り・ひょっここ踊りの練習、そして施設ボランティアで演舞デビュー・ぶどう狩り・メンバーの霧島の別荘での露天風呂入浴・食事会・かざら工芸など仲間との交流を深めさわ大での出会いを宝として活動しています。

続 武介

3班

友情を深める 元ヤングマンたち

私たちは卒業後も不定期おしゃべり会や食事会をやりながら、交流を深めている。7月の城南温泉へのグラウンドゴルフ&温泉行きはどしゃ降りの雨。初めてスティックを握る人もいたが、後は「どうせ温泉に入るだけじゃん！」と雨の中を強行。入浴後は化粧直しをして近くの山中のある秘密の隠れ家レストランへ。9月は八代駅横の吾妻屋のペンキ塗りで悪戦苦闘。気持ちよい汗を流し近くの喫茶ミックでの昼食とおしゃべり。11月には水俣在住の吉本さんの案内で水俣のパラ園や長島フラワーフェスティバル&造形美術展を見学。車中のおしゃべりは全開、晴天にも恵まれ感動の一日であった。

機 洋子



4班

卒業後、4班では1年間共に学んだ仲間として、今後も可能な限り会える機会を持ちたいと話合い、月1回程度何らかの形で再会できるよう誓い合った。4月には花見後食事会を実施し、さわ大在籍中のこと、卒業式での楽しかったことなど思い出話に花が咲いた。その後も場所を変え食事会を行いながら近況等を語り合った。8月には涼みながら食事会を挟みカラオケ会を実施した。常連の班員がセット、大きな声で3時間近く歌い楽しく散会となった。ほぼ毎月近況や世間のことなど語り合う食事会やおしゃべり会は定期的に続いている。

田中 茂



私の神通力もたいしたものです

九州三大祭の一つ、八代地方の一大イベント「八代妙見祭」の中核をなす神幸行列が、我が町内の年番となり、拝殿前で参拝者にお祓いをする役目を担当した。白襦袢と濃緑色の袴で正装し手には長い竹竿の先に付けた長大麻(おおぬき)を参拝者の頭に触れてお祓いをする。神社は人、人、人の波。参拝者は健康、幸せ、開運その他の願掛けがある。願が成就する様、人々に満遍なく長大麻を振る。これが頭に触れると参拝者は笑みを浮かべ列を移動していかれる。夕方までお祓いし、無事役目は終了する。帰り道は軽い疲労感が有ったが、爽やかな気持ちで満ち溢れ満足感にひたつた。私の神通力も大したものです。

元村 武司



我が2班の匠

ちょっと渋め、しかし笑顔は昔のいい男、私たちは石橋勲さんのことを「師匠」と呼んでいます。ひょっここ踊りの名手であり私たちの師匠でもあります。季節を生活の中に取り入れ畑の幸・山の恵み(カズラや木の実など)を利用しての竹かごやリースづくり、木の枝細工、更には手品といずれも玄人肌、日々の脳活性活動はすごいと唸らせるものがあります。家事全般・地域活動を精力的にこなすという自慢のレジェンドです。

続 武介

私の幸せ

あれもこれもと好奇心と夢一杯の私は今「つるし飾り」作りに夢中です。今年の申の置物を頼まれ、材料探し、デザイン等々、日々がアツという間に過ぎてしまい、1日がえらく短く感じるほど充実した毎日過ごしています。苦勞して作品が完成し、家族に誉められると益々張り合いが出ます。また見に来て下さった方から作品を評価してもらおうと最高の幸せです。これも周りの皆様のお蔭、家族の理解にも感謝しています。長年作り貯めてきた沢山の作品は2月末までは自宅に、3月からは生徒さんと作った「さげもん飾り」も一緒にサンライフにて所狭しと展示します。是非見学に来て下さい。まだまだ人生を楽しみながら頑張り続けるつもりです。

宮崎満子



知ってほしい妙見祭 白和幣

「ユネスコ無形文化遺産」への登録を目指す妙見祭神幸行列に近年「白和幣」がここ近年参加していないことを、昨年の斯華会(白百合学園高同窓会)で、妙見祭保存振興会の濱会長の講演を聞いて学び、そして強い参加要請があり、祭りの復興の一助になれば！と同窓会が立ち上がり昨秋初参加。それにより40の全ての出し物が揃い、登録への弾みがついたそうです。祭りの当日は着付けのために朝4時集合。外はまだ真っ暗。白和幣は御幣のついた青竹を捧げた老若男女の一群で神幸行列では6番目。どんな意味や役目があったのか良く理解できませんが、230年以上も前から旧宮地村が担当だったそうです。大事に守っていききたい無形文化遺産であります。



かつらをつけ正装した8人の女性と白百合高の男子先生

これ私
今秋見に来てね!

岡本 幸子